

## 特集

### 地域医療連携の充実をめざして

地域医療福祉連携室 末澤 廣子



地域医療福祉連携室は、平成17年4月に地域連携室と医療相談室が統合され、『地域医療福祉連携室』と改組して新たに出発いたしました。地域の医療機関の先生方には身近な病院としてご利用いただき、より充実した密接な連携を深めることにより、患者さまにとって安心できるきめ細やかな医療を提供出来ることを目指しております。地域医療福祉連携室の役割と業務内容をご紹介します。

#### 1 なぜ今、地域医療連携なのか

これからの医療は、個々の病院や医師・診療所が単独で行う時代ではなく、それぞれの施設が連携して行われます。協和会病院は、個々の病院や医師・診療所が単独で行う時代ではなく、それぞれの施設が連携して行われます。協和会病院は、個々の病院や医師・診療所が単独で行う時代ではなく、それぞれの施設が連携して行われます。

#### 2 病院と診療所へ上手に利用するには

病院と診療所の連携を推進するためには、いつも身近で気軽に受診できる「かかりつけ医」を持つことが大切になります。一方、病院の役割は、高度な医療機器による検査や手術などを担当します。また、急変時や入院が必要な方の治療を担います。

#### 3 紹介状について

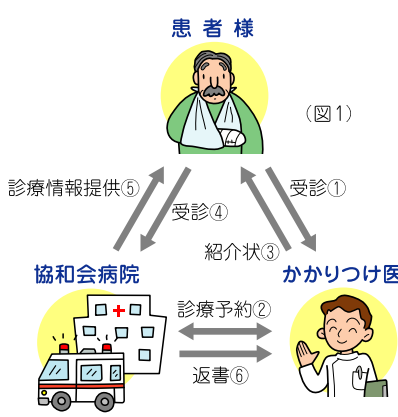
地域全体でかかりつけ医または他の医療機関からの紹介状があると、病状経過が的確に把握できます。それにより、同じ検査を行う必要がなくなるなど、ムズが診療を行うことが出来ます。

#### 4 当院の特徴を踏まえた地域連携

協和会病院は救急医療（24時間体制・2次救急指）から慢性期医療、さらには高度医療も実践し幅広い医療を展開しています。

#### 地域医療連携の業務

- 患者様の地域医療機関への紹介
- 地域医療機関からの紹介患者様の受け入れ
- 地域医療機関、行政機関、福祉施設等の連携（ご紹介や連絡）(図1)
- どの診療科に受診したらよいか分からないときの相談受付



#### 退院支援業務

- 退院後の療養生活（在宅医療・転院・施設療養）の支援

#### 医療相談業務 (図2・写真1)

- 治療費などの経済的な心配事（公費医療制度の案内、手続きの説明）
- 治療中の不安、悩みなど
- 介護保険制度、社会保険制度、その他保障制度の利用の仕方について
- 社会福祉制度（高齢者福祉、障害者福祉など）の利用の仕方について
- 老人保健施設、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設の利用について
- 誰に相談してよいか判らない時
- 疾病による心理的、経済的問題や家族等の悩み相談 など



面接風景(写真1)



医療相談業務は主に専任の医療ソーシャルワーカー（Medical Social Worker 略してMSW）が担当いたします。当院では医療ソーシャルワーカーを4名配置し、1階フロアの地域医療福祉連携室で患者様、またはご家族の方の医療相談にしております。



地域医療福祉連携室スタッフ(写真2)

医療ソーシャルワーカーはお受けした相談の秘密は絶対に守ります。また、ご相談に際しての料金は一切かかりませんのでご安心下さい。通院や入院中に困ったこと、心配事がありましたら遠慮無く地域医療福祉連携室を御利用ください。(写真2)

### 褥瘡対策への新しい取り組み

褥瘡対策委員会委員長 医師 濱口 伊久夫



「たかが床ずれ、されど褥瘡」といわれるように、いったん褥瘡ができてしまうと、お尻の皮膚が圧迫され褥瘡が起きます。また、動かさないために関節が硬くなり、筋肉も弱くなるという悪循環を起します。そこで、当院の特色のひとつであるリハビリテーション科とも協力し、褥瘡を持つ方にはできる限り早くからリハビリをするようにし、硬くなった関節を柔らかくしたり、筋力をつけたりすることに、ベッドから離れていただけるようにしています。

#### 「きずのなおり方」の新しい考え方に基づいた治療

褥瘡は、傷には消毒し、ガーゼをあて、かさぶたを作っておくものでした。しかし、最近の研究により、傷は湿潤した状態におき、体内物質の働きを活性化するのが良いとされるようになりました。そのため、消毒よりも洗浄、ガーゼよりも新しい被覆材の使用、遺伝子組み換え技術を用いた薬品化した体内物質の使用が行われています。当院では、ハイドロソフトという被覆材や、「フィブラストスプレー」という薬品を使用し、治療効果を高めています。

#### 科学的根拠に基づいた看護ケアの工夫

褥瘡ができる原因は皮膚の圧迫であるため、患者様の身体の向きを頻りに変えることが大切なのはいうまでもないのですが、実際に実行するには大変な労力が必要となります。そこで、研究の結果に基づいて体位交換の時間を工夫したり、褥瘡用で作られた特殊なマットを使用することで、省エネ化を図っています。また、褥瘡ができていない身体の状態を「注意報」や「警報」として認識した上で、できるだけ褥瘡を作らない工夫をしています。さらに、院内の他部門との協力も進めています。たとえば、褥瘡の発生に関する対策では、院内感染対策チーム（ICU）と、また、食べられず栄養状態の悪い方への対策では、院内栄養サポートチーム（NST）と、設置準備中）と協力し、効果を上げています。

#### 「寝たきり」防止に対するリハビリテーションの関わり

褥瘡は、高齢の寝たきりの方にできやすいため、皆様ご承知のとおりです。寝たきりになると自分で寝返りを打てないために、特に背中や

#### 褥瘡に対する病院職員の認識を高めるために

褥瘡に対する認識が向上してまいりました。当院では、今年度の褥瘡対策の重要性の認識をさらに高めるために、委員会が主導し、「じよくそう撲滅キャンペーン2005」と題したキャンペーンを行っています。褥瘡は「予防は易く治療は難しい」ことから、その対策は「予防」に特に「除圧」が第一であることを十分に認識した上で、「つくらない、悪化させない」ことを目標として、褥瘡患者様の前月比50%減」という具体的な目標を設定することで、達成感を味わいモチベーションを高めてもらうようにしています。さらに、今年度から、委員会から職員への情報伝達的手段として「週刊じよくそう撲滅」を創刊しました。

#### 今後の課題と展望

以上のような取り組みで、幸い、院内での新発生や、悪化する方は減少する傾向にあります。しかし、不幸にも、ご自宅や施設から褥瘡を持って入院してこられる方が多い現状があります。これを減らすことが、今後の課題と考えられます。そのためには、我々医療従事者が病院の外へ出て行き、皆様に褥瘡予防の知識を広めることが必要と考えられます。また、訪問看護や訪問リハビリをもっと充実させ、ご利用いただくことも必要かと思われ、将来的には「褥瘡ゼロ」をめざし、褥瘡で苦しむ方がいない社会になるようにと考えております。

#### じよくそう撲滅キャンペーン 2005

褥瘡対策委員会、日本褥瘡学会の協賛で開催されます。

褥瘡患者様数を、毎月あたり「病床数の1%（約3名）以下」に抑える！

そのためには、「予防」がイチバン！  
「つくらない、悪化させない」ことが大切です。

- 敷設マットの活用
- すべりどめシートの活用
- かかとには包みをはかす
- W/C 乗車時は90度の座位姿勢
- はやめのアセスメント
- ① ねがえりうてない方が入院したら「褥瘡注意報」
- ② 発赤きたら「褥瘡注意報」
- ③ 90度台入院したら「褥瘡注意報」
- ④ 「なぜできたのか」を考える
- ⑤ 注意喚起のポスター活用
- 早期離床、早期リハの推進
- 栄養管理

協和会病院・褥瘡対策委員会 2004.2.10



## 協和会病院ご案内

医療法人協和会 協和会病院 吹田市岸部北1丁目24番1号  
(代) 06-6339-3455

- 理事長 / 木曾 賢造
  - 院長 / 増田 公人
  - 開院年月日 / 1988年 (S63) 3月
  - 診療科目 / 内科、循環器科、胃腸科、消化器科、外科、  
整形外科、脳神経外科、放射線科、リウマチ科、  
リハビリテーション科
  - 専門外来 / 眼科 (木曜日午後)  
泌尿器科 (月曜日13:00～14:45)  
皮膚科 (水曜日14:30～15:30)  
神経内科 (木曜日午前)
  - 診察時間 / 午前診 9:00～12:00 (月～土曜日)  
午後診 13:00～15:30 (月～金曜日)  
夜診 17:30～19:30 (月～金曜日)  
日曜診 9:00～12:00
- ※救急は24時間体制で対応します (二次救急指定)。

### 送迎バス時刻表 岸部・桃山台方面

時刻	平日	土曜日	休日
8:20	45	00	20
10:45	45	00	20
12:45	45	00	20
14:45	45	00	20
16:00	00	00	00
17:20	20	20	20

【★…新小川経由 南→南千里】

時刻	平日	土曜日	休日
8:45	45	15	00
10:45	45	15	00
12:00	00	00	00
13:00	05	05	05
14:00	05	05	05
15:15	15	15	15
16:15	15	15	15

7月1日より赤字の時刻を増便いたしました。  
※交通事情により多少発着が前後いたしますのでご了承ください。

### 阪急南千里駅発→協和会病院ゆき

時刻	平日	土曜日	休日
8:50	50	40	00
10:50	50	40	00
11:05	05	05	05
12:05	05	05	05
13:05	05	10	10
14:05	05	10	10
15:20	20	20	20
16:20	20	20	20

### 協和会病院発→JR岸辺駅方面ゆき

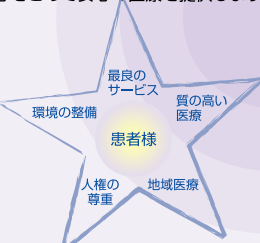
時刻	平日	土曜日	休日
9:20	50	50	20
10:20	50	50	20
11:20	50	50	20
12:20	50	50	20
13:20	50	30	50
14:20	50	20	20
15:20	50	20	20
16:20	20	20	20
17:20	20	20	20
18:20	20	20	20
19:20	50	20	20

### JR岸辺駅発→協和会病院ゆき

時刻	平日	土曜日	休日
8:40	40	40	00
9:30	30	30	30
10:30	30	30	00
11:30	30	30	00
12:30	30	30	00
13:30	30	40	00
14:30	30	30	30
15:30	30	30	30
16:30	30	30	30
17:30	30	30	30
18:30	30	30	30

### 病院理念

**一知・技・心**  
専門的な知識と技術の向上を図り  
心をこめて安心の医療を提供します



### 基本方針

1. 「患者様中心」を常に心がけ信頼される医療を提供します
  1. 医療技術の向上につとめ専門性の高い医療を提供します
  1. 人員・設備・環境を整え安心の医療を提供します
  1. 二次救急指定病院としての役割を担い地域に求められる医療を提供します
  1. 患者様・職員共に人権を尊重し公正な医療を提供します
- 医療法人 協和会 協和会病院 2004.4.1

## 山東医院を訪問して

『山東医院』は、吹田市千里山西5-11-10に地域密着型の医院 (内科・小児科) として先代院長の時代に開設。山東院長が父親の後を継がれ長年に渡り、吹田地区の地域医療に多大なる貢献をされています。特に患者様の身になって診療し、温かみのある「かかりつけ医」でありたいとお考えで診察されておられます。院長は、大阪医大を卒業後、医大では小児科医としての臨床経験を積まれました。しかしながら、昭和52年、大阪警察病院には内科医として就職。縁あって協和会グループの協立病院にも昭和61年から7年間在籍。その後、開業され現在に至っています。診療日は、平日の午前診 (月曜から土曜) 9時～12時・午後診 (月曜・火曜・水曜・金曜) 13時～18時 (木曜と土曜の午後診は休診) です。

尚、趣味は「ゴルフ」をすること。気のあったメンバーとラウンドして汗を流すことができるので楽しみにしています。PS) 医療連携の重要性についても強く感じておられ、必要に応じて適切な専門施設を紹介するようにも努めているとのことでした。また、当院の増田院長とは日頃から親交も深く、『いつも迅速に対応してもらって感謝しております』というありがたいお言葉も頂きました。



山東浩二院長

(編集子) 北村 博司

## 医師の紹介

整形外科 岩名 大樹



さてこれから私がお世話になる協和会病院とはどんなところなのでしょうか? はじめまして。10月より協和会病院整形外科に着任いたしました岩名大樹 (いわなだいき) と申します。医師としては卒業8年となりそろそろ新米から中堅へと脱皮したいと考えていた矢先の転勤となりました。現在まで国立呉病院、国立療養所日根山病院、市立吹田市民病院、大阪大学付属病院、芦屋市民病院での研修を経て、それぞれの病院ならではの様々な貴重な経験をさせていただきました。

さて今回で6番目の赴任先となる協和会病院ですが、整形外科医としてはまずはどういった患者さんと接する機会が多いのかが気になることです。吹田の地域性、そして大学病院のお膝元という土地柄を考えますと外傷が多いのでしょうか? それとも人工関節センターなのでやはり人工関節手術が多いのでしょうか? 統計によりますと吹田市の人口は約35万人で微増傾向にあり、またその人口密度も高く、非常に交通量の多い幹線道路も縦横に走行していることも加えると病院の役割の大きさを計り知ることができ、私自身一層の努力とそして熱意をもって診療にあたる必要があると思っております。ちなみに趣味はゴルフです。発展途上な私が少しでも成長 (上達?) していく様は、球筋やスコアに如実に現れるため非常にわかりやすいと思っています。診療や手術は私の下手なゴルフが上達するほど単純ではないと思いますが、皆様のお力を拝借し今後もいっそう頑張っていきたいと思っております。若輩者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 「肩こり」

日頃、肩こりに悩まれている方も多いのではないのでしょうか? 今回、肩こり解消法を考えてみたいと思います。

**① 正しい姿勢**  
猫背や凹み背 (お腹を前に突き出し背中丸まっている姿勢) は、特定の筋肉を緊張・疲労させ、血行障害を起こし肩こりの原因となりますのでご注意ください。

**② 温める**  
患部を温めることで筋肉の緊張がほぐれ、血行も良くなります。

**③ 体操**  
朝起きた時、お風呂入り等の時間を活用して下さい。回数目安です。

● 肩をすくめます (10回ずつ)

● 手を額に当て首を前に曲げる様に入れます (5秒ずつ5回)

● 腕をぐるりと回します (前・後ろ回し) (10回ずつ)

● 後頭部に手を当て首を後ろにそらす様に入れます (5秒ずつ5回)

(作業療法科主任 藤原太郎)

## 職場紹介

## 検査科

みなさんこんにちは。検査科は、病院1階中央受付右手にあります。ご存知ですか? 検査科は開院時3名のスタッフでスタートしました。開院後すぐに増田院長からの救急医療にも対応できるようにとの指令を受け、毎年少しずつ機器とスタッフを増やし現在8名のスタッフで緊急検査をはじめ検体検査・生理検査が行なえるようになりました。「人と人とのふれあいが医療には大切である」との私の考えより全員が皆様と接することが出来るような業務を組んでいます。時にはスタッフ数不足でお待たせすることもあります。精一杯努力をしておりますのでよろしくお願い申し上げます。

今年9月の選挙で自民党が掲げた「改革を止めるな」をもじって【改革を恐れるな、常に前進】をキャッチフレーズに、現状に満足せず常に一歩先を読むことを心がけています。時々勇み足になったりすることもあります。患者さまを中心とした医療を常に心がけ、みなさんの健康が少しでも回復できる様お手伝いをしていきたいと思っています。

(検査科 科長 本岡 敬一郎)



## 4階病棟

こんにちは。4階病棟の紹介をします。4階は整形外科と内科の混合病棟です。整形外科の患者様が8割を占め、ほとんどの方が手術目的で入院されています。整形外科の手術後は翌日からベッドサイドリハビリが開始となりますので、私たちは患者様が無理なくリハビリ練習が行えるように環境を整えています。リハビリの病棟担当者が5名いますので、毎日情報交換を行ない、連携を図ることで患者様が一日でも早く社会復帰出来るようにそれぞれのスタッフが頑張っています。

整形外科は関節手術が多いので、脱臼などの合併症予防について術前から説明を行っています。また、医師・リハビリスタッフを交えて術前・術後のカンファレンスを行ない、整形外科ナースとしての専門性を高めています。

整形外科病棟は、患者様の平均年齢も若く活気があり明るい病棟です。月に平均25件以上の手術がありますが、若さとチームワークで乗り切っています!

(4階病棟 看護部次長 丸山 公子)



### ＝皆様からお寄せいただいたご意見について＝

当院では、「意見箱」を設置し、皆様からのご意見を頂いております。質の向上、より良いサービスの提供を目的に意見箱を設置しております。以前設置しておりました意見箱を一新し、更に増設をして、より多くのご意見が頂けるようにしました。これら貴重な意見については、院長をはじめ、それぞれの担当者へ周知をはかり、対応させていただきます。

上記のご意見の対応について、報告させていただきます。

①食事については、委託業者に要請をしております。②職員の接遇 (対応や言葉遣いが悪いなど) については、接遇委員会を中心に改善・向上を図るべく順次、教育・研修を重ねて努力しております。皆様方に協和会病院をよりよくご利用していただけるように努力していきます。③外来待ち時間を把握する調査を実施予定 (10月24日～30日) です。④院内の設備に関して、改善できた事例についての報告です。●「作業療法室 (OT室) の量が備わっている。」⇒8月20日に入れ替えを行っております。●「テレビカードの残金の払い戻しをしてほしい。」⇒9月10日より案内表示し、9月12日より払い戻し機 (テレビカード精算機) を1階に設置しております。●「院内の携帯電話の使用について、ルールを作ってください。」⇒10月1日より使用エリアを限定しマナーを守ってお使いいただくように、案内しております。紙面の都合上、掲載は一部ですが、全てのご意見について目を通してまいります。ご意見・要望等がございましたら、意見箱等をご利用ください。

### 代表的なご意見

- ① 食事内容について
  - ② 職員の接遇
  - ③ 外来待ち時間について
  - ④ 院内の設備に関して
- 協和会病院 サービス委員会

**健康講座** のご案内

お気軽に  
ご参加  
下さい。

平成17年11月19日 (土)  
開演: 午後2時～

『失語症』 1.失語症ってなに?  
2.失語症の方々との対話会

協和会病院 言語療法科

会場 ウェルハウス協和  
2F食堂 (協和会病院併設)  
吹田市岸部北1-24-2

お問合せ先  
TEL 06-6339-3455  
協和会病院まで

**編集後記** 早いもので、来年3月発行予定の次号広報誌「なごみ」が記念すべき第10号目を迎えます。何か趣向を凝らした企画が組めればと委員一同考えておりますのでご期待下さい。

広報誌委員長 北村 博司